

シリーズ ここまでわかった考古学

# 瓜生堂遺跡の最新研究

平成17年2月19日(土)～3月27日(日)

会場 大阪府立弥生文化博物館 特別展示室

主催 大阪府立弥生文化博物館  
財団法人 大阪府文化財センター

会期行事 場所：1階ホール（定員170名）

## ■調査成果報告会・ミニシンポジウム

第1回 2月27日(日)

「瓜生堂が問い続けるもの—1970年代から未来へ—」

東大阪市教育委員会 福永 信雄

(財)大阪府文化財センター 川瀬 貴子

第2回 3月13日(日)

「関連科学が明らかにした瓜生堂遺跡の実像」

(財)東大阪市文化財協会 松田 順一郎

徳島大学埋蔵文化財調査室 中原 計

大阪市立大学大学院医学研究科 安部 みき子

(財)大阪府文化財センター 秋山 浩三

## ■講演会

3月20日(日)

「瓜生堂の炭素14年代と近畿弥生実年代」

国立歴史民俗博物館 今村 峯雄

各回とも午後2時～4時(受付：午後1時～)



炭素年代試料  
今から2800年～2400年前  
弥生時代前期の土器



## 大阪府立弥生文化博物館

開館時間：午前10時から午後5時(入館は4時30分まで)

休館日：毎週月曜日

(但し祝日の場合は開館、翌日火曜日が休館)

入館料：個人一般400円[320円]

65歳以上・高大生300円[240円]

小中学生・障害者手帳を持つ方は無料

[[ ]]内は団体料金 20名以上]

所在地：〒594-0083 和泉市池上町443

電話0725-46-2165 FAX.0725-46-2165

<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

交通：JR阪和線「信太山」駅下車徒歩7分  
南海本線「松ノ浜」駅下車徒歩20分

駐車場：普通車80台、大型バス7台 無料



## 瓜生堂遺跡の最新研究

(財)大阪府文化財センターは、大阪府内において数多くの発掘調査にかかわってまいりました。

今回は、それらの内1999年～2002年に調査を行い、このたび報告書が刊行されました瓜生堂遺跡の発掘調査の成果と実年代測定法などの関連諸科学分野からの最新の成果を紹介します。

### 展示内容

- ① 弥生時代前期の瓜生堂 —近畿初現期の農耕集落と水田—
- ② 河内湖南岸の弥生前期集落
- ③ 弥生時代中期の瓜生堂 —ムラと墓—
- ④ 弥生時代後期の瓜生堂 —遠隔地との交流—
- ⑤ 遠くから運ばれてきた土器 —海をわたって—
- ⑥ その後の瓜生堂 —古墳・古代から中世のムラへ—
- ⑦ 既往の瓜生堂遺跡調査紹介
- ⑧ コゲ・煤からわかった実年代



③ 99-5区弥生時代中期の方形周溝墓  
周囲を掘った土を盛りあげた、ムラの有力者一族の墓



④ 弥生時代後期の土器



① 弥生時代前期の土器



① 弥生時代前期の農具 木製鍬



③ 弥生時代中期の土器(方形周溝墓出土供献土器)



讃岐産壺

土佐産甕

⑤ 四国で作られ運ばれた土器  
何を入れて運ばれたのでしょうか。